

市長3期12年間の主な取り組み

- 公社の負債の整理を行いながら、約1,000億円の実質借金を860億円まで減らす一方、基金を100億円積み増すことに成功。
- 消防・救急、ゴミ処理の東海村との広域化により、市民サービスの向上と大幅な効率化を実現。
- 災害時要介護者支援のネットワークづくりと災害復旧を県内でいち早く推進。
- 「自治基本条例」を制定し、自治会・NPO・市民による主体的な活動を支援。
- 少人数学級の推進、いじめ・不登校対策の取り組みなど、小中学校教育を充実。
- 救急、高度医療を担う日立製作所ひたちなか総合病院の改築と筑波大学との連携協定による医師確保を支援。
- 子どもと妊産婦の医療費や予防接種、難病対策について市単独で助成を拡大。
- 子どもの発達障害相談室を開設。
- 茨交凌線をひたちなか海浜鉄道として存続、再生し、新駅設置も実現。
- 市営住宅として市内民間アパートを活用する家賃補助制度を全国に先駆けて創設。
- JR勝田駅東口再開発事業を計画見直しから5年で完成。

プロフィール
昭和29年11月12日生まれ 60歳
昭和52年 東京大学経済学部卒業
茨城県庁入庁
○家族構成
妻・長男・二男・三男（5人家族）
○趣味
旅行・スポーツ観戦・音楽鑑賞・読書
○東石川六ッ野在住

～高い市民力がまちを輝かせる「自立と協働のまちづくり」を推進します～

- 1 協働のまちづくり～絆の再構築**
→ ☆家族・地域の絆を活かした三世同居・近隣居住等の奨励施策により、高齢者の一人暮らしや若い世代の子育てを支援
☆空き家対策の推進（活用、安全対策のための条例制定）
- 2 産業支援策の展開による若者の働く場の確保、財政基盤の強化～自立の推進**
→ ☆常陸那珂港の中央ふ頭第2バースの着工促進と企業誘致の推進
・中小企業の技術力・販売力向上や創業、農業・漁業の六次産業化や地産地消を支援
・観光資源の連携による交流人口拡大（国営公園、史跡、ジオパーク、お魚市場等）
☆長期断水の原因となった上坪浄水場の全面改築（市独自の取水源の確保）
☆新津波ハザードマップのもとに避難道路（和田町ひたち海浜公園線等）を整備
・高潮対策も含め那珂川下流部の早期築堤促進、流入する河川改修の推進
- 3 震災復旧・防災対策の推進**
→ ☆子ども（中学3年外来まで）の医療費、予防接種に対する公費負担の拡大
・介護予防教室の拡大、元気アップ体操のさらなる普及
・障害者が住み慣れた場所で安心して暮らせるための就労支援等の充実
- 4 医療の充実 高齢者の健康づくり、障害者福祉の推進**
→ ☆学校規模適正化と小中一貫教育の推進、学童保育の拡充（まずは小学校4年生まで）
・校舎の改築、耐震化の計画的な推進
- 5 学校教育の充実**
→ ☆ひたちなか海浜鉄道のひたちなか地区（国営ひたち海浜公園等）までの延伸実現
・スマイルあおぞらバス路線の拡充
・土地区画整理事業の大幅な見直し計画に基づく早期完了
雨水排水、通学路の安全確保、避難道路や公共施設の整備等を優先する事業の重点化
- 6 交通弱者・環境にやさしい公共交通の充実**
→ ☆ひたちなか地区の国有地約40ヘクタール（市が無償借り受け）の活用
産業支援機能など多角的視点から、市民、関係団体の提案を受けながら活用を進める
- 7 計画的な都市づくりの推進**
→ ☆コンパクトシティの推進による中心市街地の活性化
まちづくり会社による開業等支援、中高齢者の居場所づくり、子育て支援や生涯学習の場の提供など公共サービスの充実
- 8 東海第二原発の再稼働問題について**
→ ☆旧那珂湊二高校舎・グラウンドを若者の人材養成、スポーツ・文化活動の場として活用
東海村・那珂市（那珂台地）さらには大洗町等との連携による広域行政の推進、合併の検討
100万人近い人口を有するUPZ圏内の市町村と連携し、市民の安全確保を第一に、原発所在自治体として意見を反映できるよう「原子力安全協定」の見直しを進める
(☆は新たな取り組み)

無所属
(自由民主党・民主党
公明党 推薦)



本間もとき

若い力で、もっと!



「ひたちなか市は大きな可能性があるのに、もったいない」という多くの声を耳にしてきました。私もそう思います。もっと伸びるはずです。

そのためには、市長が未来を語り、チャレンジ精神を持ち、工夫とアイデアをしっかり示していく必要があります。

過去2回、無投票が続きました。今回は、これまでの12年間の延長か、新たな可能性にチャレンジするかを選ぶ大切な選挙です。皆さんも真剣に考えこれからの未来を選択してください。

もっと元気になる。もっと楽しくなる。もっと好きになる。未来に誇れるひたちなか市を一緒に作りましょう!

ひたちなか市長候補 **大谷明**

経歴

1973年、教師の父(旧那珂湊出身/勝田一中・那珂湊三小・堀口小・高野小等で勤務)と看護師の母(盛岡市出身)のもとに生まれる。長堀小・勝田一中・茨城高・中央大卒。13年間広告会社(営業)に勤務した後、松下政経塾入塾。2011年茨城県議会議員(無所属)。妻と娘(2歳)の3人家族。

夢のある未来志向のまちづくりを!

故郷自慢

- ・街の自慢にしたい農産物やお店、スポット等を再発見して発信
- ・子どもへの地域文化の伝達を推進

子育て先進

- ・学童の内容&質共に向上へ
- ・子育て支援型図書館を検討
- ・子育て相談をネットで気軽に

健康長寿

- ・県内No.1の在宅医療先進都市へ
- ・簡単で効果的な健康運動普及へ
- ・認知症予防対策を強化

観光立市

- ・マスコミに注目される話題作り
- ・特産品の6次産業化を見据えた新たなおみやげ開発をサポート

ビジネス挑戦

- ・空き家貸出制度で新事業を応援
- ・先進技術の実用化を推進
- ・女性の起業家育成を支援

人財宝庫

- ・創造性を育む遊び場づくりを推進
- ・注目される幼児期教育に対応
- ・社会で生きぬく力の育成を強化

安全先取り

- ・災害対策に新視点を入れ常に進化
- ・避難所生活の環境の悪さを改善
- ・防災訓練の内容を再検討

未来創造

- ・街の未来を皆で語る場を開設
- ・政策提言コンテストで市政に参加しやすい環境づくりを



無所属

大谷明
41歳

ひたちなか市長選挙

投票日 **11月16日(日)** 午前 7時から
午後 8時まで

届けよう この声 この夢 この一票

ひたちなか市選挙管理委員会